

### 3 設 計

**Q-17** 「フラット指針」の適用範囲を超えた場合の考え方について教えてほしい。

**A**

「フラット指針」の適用範囲を超えて使用する場合、フラットデッキ型枠の品質・施工上の精度・作業の安全性等の観点から、必要に応じたさまざまな項目を追加検討する必要があります。

例えば長さについて 4.9 m を超えるフラットデッキを使用する場合、各メーカーの製造対応可否のほか特に製品の寸法精度やトラック荷姿、揚重や敷き込み時の作業性等の検討が必要となります。

また、過大な厚さ（スラブ厚 300mm を超える場合）のコンクリートスラブに対応する場合は、特にフラットデッキ型枠全体の強度・剛性が重要となります。フラットデッキの支持側（特に在来型枠）の検討はもとより、フラットデッキのエンドクローズ部の強度やウェブの接合部（スポット溶接およびカシメ部）への影響、リブの開きや上面フランジ部の変形等が考えられ、従来の曲げ・たわみ・支圧強度の他に、エンドクローズ強度や接合部の強度等の検討が必要となります。またその他調整プレートの使用可否についても合わせて検討を要します。

オフセット寸法が 40mm を超える場合は、必ずエンドクローズ部の強度性能を確認する必要があります。

上記いずれの場合においても、まず安全性の確認を念頭に十分ご検討の上ご使用いただくことが肝要です。

詳細な検討内容については、各フラットデッキメーカーへお問合せ願います。

#### < 短スパン向けデッキプレート >

1.0 m 以下の短スパン向けデッキプレートとして、以下の製品もございますので一部紹介します。なお詳細は各メーカーへお問合せください。

